

浜松市

こどもの権利ワークショップ

2025年度
最終回!

第4回

浜松市こどもの
権利条例について
話し合おう

令和8年2月15日(日)

13:30~15:30

@ザザシティ浜松 中央館5階大会議室

令和8年2月15日(日)に第4回「浜松市こどもの権利ワークショップ」を開催しました。
ワークショップの内容についてご報告します。

第4回の内容

1. こどもの権利カードあわせゲーム
(神経衰弱ゲーム)
2. 浜松市こどもの権利条例
「こどもからおとなへのメッセージ」
について

こんなステキな
記念品をもらったよ♪



1

こどもの権利カードあわせゲーム (神経衰弱ゲーム)

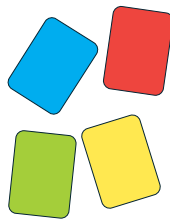
子どもの権利条約のカードを使って権利について学びながら、トランプの神経衰弱ゲームのような遊びをしました。

第1~3回までのグループとは異なり、くじでランダムに分かれた小学校1年生から社会人まで混合のチームでおこないました。

ゲームを通じて、楽しみながらこどもの権利を学ぶことができました。

<ルール>

- ・トランプの神経衰弱ゲームと同じようにカードをめくって、揃ったカードの権利を読んだら、その2枚をゲットできます。



あのカードは
どこだったかな?

この権利
さっき見た!



浜松市では現在、これまでのワークショップで伝えてもらった意見や想いを聴きながら、こどもの権利に関する条例の整備に取り組んでいます。条例の解説文に掲載する「こどもから、おとなへのメッセージ」について、意見を聴きました。

まずは、一人ひとりが「こどもから、おとなへのメッセージ」について考えました。



考えた意見について、チームごとに話し合いました。



チームごとに話し合った意見をまとめて発表しました。

「一人ひとりが異なる」というところがいいと思いました。

ぼくも自分の意見をおとなに聴いてほしいからいいと思った。

ふあんをきいてほしい。

個性と言う言葉がいいと思った。

「まちづくりや社会のことを決めるときに聴いてください」のところがいいなと思った。

「一緒に」がたくさん入っていておとながこどもによりそうところがいいと思った。

今年度のワークショップは、第4回が最終回となります。こどもの権利という内容でしたが、参加したこどもたちは毎回活発に想いを聴かせてくれ、ワークショップが意見でいっぱいになりました。今回のワークショップの最後には、「浜松市がんばって！」とこどもたちから大きな声援が送られました。これからも『こどもは権利の主体』であることをこどももおとなも理解し、こども・若者が健やかで幸せに成長できる「まち」を目指していきます。

最終回も
元気いっぱい！

